

# 健康 Q&A



教えていただきました

医学博士  
古嶋 博司



## Q.サル痘とはどんな病気ですか？

サル痘の患者が今年の5月から欧米を中心に増加しています(2022年6月23日時点で世界で3,557例)。サル痘とはどんな病気なのでしょうか？

サル痘は1970年にコンゴ民主共和国で初めてヒトの感染例が報告された「サル痘ウイルス」による感染症です。名前に猿とありますが、これは猿も感染することがあるというだけで、元々の感染元はネズミの仲間ということです。サル痘患者の大半はアフリカ由来ですが、そのアフリカでの患者が増えているのです。理由としては、天然痘の根絶後に種痘の接種歴のある人が減っていることなどが考えられています。

サル痘は、1980年に根絶された天然痘に病態がとてもよく似ており、症状だけで区別することは困難といわれています。頻度の多い症状としては、皮疹(100%)、倦怠感(76%)、寒気(71%)、リンパ節腫脹(53%)、発熱(41%)、体や喉の痛み(30-35%)などです。サル痘では人から人へ感染する頻度は天然痘よりも低く、重症度も天然痘(天然痘の致死率は20~50%)よりかなり低いことが知られています。アフリカでのサル痘患者の致死率は1~10%ですが、現在欧米で流行しているものはそれよりも重症度は低いようです。サル痘への感染は、①サル痘ウイルスを持つ動物に噛まれる・引っかかる ②サル痘に感染した人の飛沫を浴びる ③サル痘に感染した人の体液・皮膚病変(発疹部位)に触れる、などの経路で起こります。種痘(天然痘ワクチン)はサル痘にも有効であり、イギリスなどでは、今回の流行を受けて天然痘ワクチンの接種に乗り出しています。

現在のところ、幸い日本ではサル痘患者の報告はありませんが、新型コロナウイルスと同様にいつ国内に入り込むか分かりません。1976年以降、日本では種痘は行われていませんので、昭和50年以降に生まれた方は接種していません。今後はそのような方たちへの種痘ワクチン接種も検討されるかもしれません。

内科・循環器内科

ふるしまクリニック



診療科目／内科・循環器内科

診療時間／月・火・木・金曜日 9:00~12:30、15:00~18:00  
水・土曜日 9:00~12:30

休診日／日曜、祝日

所在地／中央区姥ヶ山5-6-20

電話／025-257-7070

ふるしまクリニック

検索